

名古屋市生徒会サミット 2016 参加生徒と名古屋市市議会議員との懇談会

報告書



日時: 2016年12月26日(月) 10:00～12:30

場所: 名古屋市役所東庁舎5階大会議室

主催: NPO 教育支援協会東海

■趣旨

名古屋市生徒会サミットの参加生徒会役員が、サミットの大テーマでもある『地域貢献』について名古屋市議会議員と懇談し、ふるさと名古屋の未来について語り合う。

■参加者

名古屋市議会 議長 加藤 一登 様

名古屋市議会 副議長 福田 誠治 様

名古屋市生徒会サミット 2016 参加校中学生生徒会役員 31 名

円上中学校 5 名

大曽根中学校 2 名

志賀中学校 2 名

志段味中学校 7 名

八王子中学校 4 名

御田中学校 5 名

守山東中学校 6 名

長良中学校（映像にて実践発表のみ参加）

名古屋市生徒会サミット 2016 高校生実行委員 2 名

教育支援協会東海 代表理事 本多 功

■進行

教育支援協会東海 専務理事 西尾真由美

■内容

■主催者あいさつ



教育支援協会東海 代表 本多 功

今日は名古屋市議会のトップ2の先生方と中学生が膝を交えて話合いができる貴重な機会である。このような会が行えるのは、みなさんのご協力のおかげとお礼を申し上げたい。

地元名古屋が、こんな街になったらいいな、今、こんなことで困っているよ、など、自由闊達に意見交換をしてほしい。今年は高校生実行委員会も立ち上がった。2020年の東京オリンピックの年ころには、この名古屋市生徒会サミットが名実ともに中学生を主体とした活動となり、サミットに参加してくれている中学生が高校生となり、社会人となっても後輩たちを支えてくれる会になっていくと良い。昨年のサミットで、「チュウ祭」という案があった。これは久屋大通り公園を貸り切って中学生の一大フェスティバルを行うというもので、これを行うにはいろんなハードルもあるが、その時には中学生たちが頑張っている、中学生が熱いぞ、という日が来ることを楽しみにしている。

■議長あいさつ



名古屋市議会 議長 加藤 一登 様

ようこそ名古屋市役所に。中学生のみなさんが名古屋の将来に関心を持ってくれていることがありがたいし、実際に意見交換をさせてもらえることは頼もしい限りです。8月に子ども市会という議会を持っている。これは小学校5、6年生75名が抽選で集まり、委員会、現場視察、そして本会議と実際の議会と同じようなことをやっている。その中で一人車椅子の児童がいた。現場視察で東山動物園に行った時、動物を見る時、ちょうど手すりが高さの目の高さのところにあって見にくいという意見をいただいた。こういった意見は分らなかったもので、早速なんとかならないかと委員会でも取り上げている。2026年にはこの名古屋でアジア大会があり、2027年にはリニアが開通する。この10年が名古屋の将来を担う大きな年になる。そのころにみなさんは社会人です。みなさんの中から名古屋市役所や、できれば市会議員にもなってほしい。今日は緊張なく意見交換ができれば良いと思いますのでよろしくお願いします。

■副議長あいさつ



名古屋市議会 副議長 福田 誠治 様

今日はたくさんの方に集まってくれてありがとうございます。今日は自分の意見を言うチャンスである。人生はチャンスを生かすかどうかで大いに変わってくると思うので、大きなチャンスと捉えてしっかりと意見を言っていきたいと思います。よろしくお願いします。

※以下敬称略

■名古屋市生徒会サミット2016 実践中間報告会

■長良中学校 映像発表 <防災>



「花は咲く」のBGMをバックに陸前高田と交流した内容や、自校が行っている活動を写真や動画でまとめたものを映像にて発表。東日本大震災を含め、災害を他人事にしてはならない。防災に対して高い意識を持ち、自分で判断して正しく行動できるよう、校内でも発信していきたい。生徒会としての今後の方向も報告しました。

■八王子中学校 <防災>



商店街で防災についてのアンケートを行った。地域で防災意識を高めてもらうのが目的で、ハザードマップも掲示した。白地図に危険だと思うところにシールとどんな危険があるか記載してもらった。校内ではサミットの内容を全校集会で発表し、アンケートを実施した。内容は、防災や交通について家族で話し合ってもらい、冬休み明けに集計する予定。生徒会で作ったハザードマップも中学生にも分かりやすいものにして、最終的には防災ブックを作る。サミットで話し合った、防災ウイークの体験学習や、予告無しの防災訓練も行っていく予定である。



■円上中学校 <環境>



サミットで熟議をしたことでより良い環境をつくりたいという思いが高まった。そこで、地域清掃では、ぼい捨てを本格的になくしたいと思うようになり、「ごみひろい登校」を考えてプレゼンした。内容は、小さいゴミ袋と軍手を各自持ってきて登校時にゴミを拾ってきてもらい、校門付近で分別を行う。さらにやる気を出してもらうために、画用紙で作ったさくらの花びらを1回につき1枚配布してクラスの封筒に入れる。そして集めた花びらを生徒会執行部でクラスごとに桜の木にして、自分のクラスがどれくらい頑張ったか分かるようにして意識を高めてもらうようにする。理想の地域に近づけるようにと

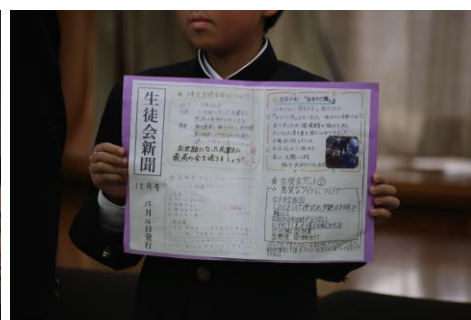
ということだけでなく、いつも一緒に登校する仲間でボランティアへの意識を高めてもらうことを目的とした。これらの活動の内容を生徒評議会でプレゼンして議論した。結果可決はされなかったが、多くの生徒が議論に参加することができた。今後は、生徒評議会を通して3月には実施していきたい。

■大曽根中学校 <いじめ撲滅>



いじめを無くすためには、子どもだけでなく、大人の協力も必要であるなど、サミットで話し合ったことを、実践すべく進めている。人権週間の校長先生からの話しの中で「オレンジ色のペンギン」という本が紹介された。オレンジ色の毛を持ったペンギンの話で、人と違うことでも受け入れるということを考えさせられる内容であった。また、一斉道德の時間にドラムサークルの授業を受け、全校生徒で音によるコミュニケーションを体験した。生徒会役員は、事前の打ち合わせから参加して、みんながひとつになるためにはどんなことができるか、講師や顧問の先生も一緒にアイデアを出し合った。当日は生徒会役員としてファシリテーター役もした。みんながファシリテーターの動きに合わせて音をだしてくれたときは救われる思いがしたし、一人ひとりの音が違うからこそ音楽が生まれるという体験もした。こういった体験は、いじめで命を落としたりしないよう、きっかけ作りになると思う。しかし、いじめをなくすためには地道な活動が大切。他校の生徒会と交流を増やして協力し合い、私たちの後輩からいじめを撲滅する活動を行う予定である。

■御田中学校 <SNS リテラシー>



SNSの文字による対話機能は、時として人を傷つけてしまうこともある。SNSの良いところも悪いところも理解して、本当の意味で便利な機能として使ってもらいたいと考えた。そこで2つの取り組みを行った。1つ目は、SNSの対話トラブルについての集会で、寸劇を使って行った。2つ目は生徒会新聞で、対話トラブルと悪質なサイトについて掲載した。寸劇では、「何で来るの?」という言葉でも、「どうし

て来るの？」という意味と「どうやって来るの？」という意味がある。ラインでは顔が見えなく相手に正しく伝わらない。ラインの内容をプロジェクターで映しながらこの内容を劇にしたことで、非常に分かりやすかったなどの感想をもらった。生徒会新聞では、サミットで話し合った内容を掲載した。悪質なサイトへのアクセスの解決策も詳しく掲載したが、新聞だと情報量が少ない、書く人によって字に特徴があり、見にくいなどの問題点も出た。しかし、この新聞は土間、廊下、教室に掲示し、多くの生徒や先生方に見てもらうことができた。今後は両面を使いながら、全校生徒に伝えていく。

■中間報告会ご講評

議長

中間報告を本当にありがとうございました。みなさん本当に真剣に取り組んでおられる。今日はいろんな中学校の方々が集まっているので、この中間報告を機に、交流を持ちながら、また語り合いながら、将来に渡って、こういった友達をつくっていただくことも大事かなと思います。これからの議論を楽しみにしております。個性豊かな意見をどんどん出していただきたい。よろしくお願いします。

副議長

大変素晴らしい発表をありがとうございます。学校でも社会でもいろいろな決まりごとがあると思うが、いろんな疑問がいっぱいある。それを改善していくことが大切かと思っている。いろんな問題に対して疑問意識を持つことが大切であるということを確認させていただきたした。ありがとうございました。

■懇談会 テーマ：私が考える理想の街「名古屋」とは

・僕が考える理想の街名古屋とは、緑を大切にする街が良いと思う。日本には東京、大阪、名古屋という大都市がある。大阪は天下の台所。東京は将軍のお膝元で、ビルも多く大都市である。じゃあ名古屋は何だということになるが、僕が目をつけたのは、「環境」だと思う。名古屋はドライブなどしていても樹がたくさん植えてあったり、花壇がたくさんあったりする。今の環境を維持したり、さらに綺麗な環境をつくるのが良いと思う。

・僕は、地域のお年寄りともっと交流をつくれることだと思う。交流をつくることで、僕たちが考えた防災にも繋がるし、いじめに対しても、第3者にも相談できて良いと思う。

・私が考える理想の街名古屋は、みんなが笑顔を交わされて、みんなが和やかな、そういう感じで人と人とがコミュニケーションをとって、結びつきが強い、そういう街が良いと思う。



司会：御田中の校区は地域のつながりは深いのですか？

・いずれは地域ともつながりを深めていきたいが、まずは校内であいさつ運動などを行っている。

本多：おじさんの立場から言うとおじさんから中学生に声をかけると変質者かと思われるから（笑い）中学生のみなさんからあいさつをしてくれると嬉しい。



・私は、名古屋がもっと過ごしやすいものになるといいと思う。いじめ自殺が問題になっているが、先生たちも意識を高めてほしい。先生も生徒に注意するのだから言葉使いを気をつけてほしいし、名古屋の教育委員会もそういう指導をしていただきたい。

・私はもっと地域の中で子どもと大人の間を深めていきたい。私が小学校のころは子どもと大人が交流する機会がもっと多くあったが、中学になってからはそういった機会が全くなり、中学生も地域とのつながりをもっと深めていけると良い。

議長：小学校では、給食のふれあいということで、地域のお年寄りや給食を食べたり、その後、毎年年賀状を交わしたり、そういうつながりになっていると聞いている。中学校になるとどうしても3学区とか4学区から上がるので、学区ごとのつながりは少なくなるかもしれないが、例えば運動会や文化祭に地域のお年寄りを招待したりして、お年寄りが関わるような行事を中学校でもやっていただけると良い。

本多：それは生徒会が音頭をとって動いたらおもしろいかもしれませんね。

司会：そういったところには議長さん副議長さんも見学にきていただけるのでしょうか。

議長：副議長：そうです。そうです。



・私が住んでいる地域では、お祭りごとや、小さい子どもやお年寄りまで、地域の人が集まって食べたり飲んだり、そういう交流がある。それは住んでいる人しか参加できないので、いろいろな学区や地域も増やして行けると良いと思う。



・名古屋市の魅力的なところを考えると、例えば大阪だと商人の町であったり、食い倒れの町であったり、一貫したイメージがある。東京に目を移すと秋葉原とか、渋谷とか行って「いいなー」と思うし、秋葉原にはアニメとかゲームとか、オタクの好きそうなものがあって、渋谷で買い物して、東京２３区の狭い中にも夢があってとても広く感じる。名古屋で考えると、港があって、名駅があって、栄があってぐらいしか思い浮かばない。そこで大阪みたいに街全体で一貫したイメージをつくるよりも、それぞれの区でイメージをつくれると良いと思う。例えば東区であったり、名東区であったり、守山区でとか、そこでイメージを持てると、中間地点の名古屋ではなくて、リニアが通った時に渋谷や秋葉原にはない、栄にはこういうところがあって、ぜひ栄に行きたいとか名駅に行きたいとか港に行きたいとか、個々の地域でイメージが持てていくと外国とか国内からもお客さんを呼び込めて名古屋は名古屋で都市としての魅力が打ち出せると思う。

本多：そこは、議長さん話したいと思うんですね。行きたくないランキングは名古屋は何位でしたっけ？

議長：貴重な意見をいただきました。観光で一番行きたくないまち名古屋に選ばれてしまいました。しかし、住んでいる人は９割の人が満足している。例えば中学校の子どもの医療費、通院入院が無料です。待機児童はゼロにしている。お年寄りには敬老パスがもらえる。ガンの検診はワンコイン（５００円）でできる。今までは名古屋の人は内向きで、観光に来てもらわなくても住んでいる人が満足して幸せだったらいいのかなというのが名古屋だった。でも、今、名古屋めしが流行っている。名古屋で開発したものを他都市で食べてもらう。今までは内向きだったが、今の意見のように、各スポットで開発するもの大切だが、名古屋に観光に来てもらうためには名古屋で泊まってもらうことも必要。名古屋には、名古屋城、東山動物園、名古屋港には水族館がある。４月１日には金城埠頭でレゴランドがオープンする。そうすると、東京のディズニーランド、大阪のユニバーサル、名古屋のレゴランドというように世界の３大テーマパークのひとつが名古屋に来るわけですから、５００万人の人が訪れる。しかしレゴランドだけに来て帰ってしまったのでは名古屋には役にたたない。金城埠頭と水族館があるガーデン埠頭は地理的にも近くである。

そこを水上交通網で繋ぐことによって、中川運河と堀川が繋がっていて、港区役所辺りにはららぽーとができ、そこにも栈橋ができる。そこを北に來ると名古屋駅につながる。堀川は名古屋港を中心に熱田神宮、白鳥庭園、そして名古屋城に繋がる。さっきも緑が多い名古屋を作ってほしいという話が出たが、名古屋の街路樹は他都市に比べても多い。そういったデザイン都市名古屋を目指している。船によって名古屋全体を回ってもらいながら、先ほども出た各拠点で地域の人も加わったまちづくりをすると、住んでいる人も訪れる人も良い名古屋になると思うので、どしどし意見を言ってもらいたいし、あなた、市議員になってくださいね（笑）

本多：では、守山区選出の若手議員ということで（笑）守山区は古墳があるね？でも誰も知らないもんね？他の区の子は知っている？ユトリートラインというバスもあるが。



司会：では、これから私たちのところにはこんなものがあるよと自慢をしてもらおうかな。

八王子中： 名城公園に緑がいっぱいある

円上中： 鶴舞公園の桜がきれい

志段味中： 古墳がある 白鳥塚古墳があり、国宝になっている。

守山東中： テニスコートがいっぱいあることと、学校の窓から古墳が見える

御田中： 運動場の広さが名古屋で2番目

大曾根中： ナゴヤドームがあって、盛り上がっている。オズモールで祭りが盛り上がっている。

志賀中： 他の中学校より学校の周りにスーパーが多い

御田中： ピカソっていうパン屋さんの本店があって美味しい。毎年2月にはきねこさ祭りがあって、お米の豊作を祝う祭りで、小学生も中学生も地域の人も集まって賑わっている。なので、御田の田はたんぼの田です。そして御田中学校の校章もお米のマークがついている。あと八田駅と名古屋駅の JR の料金がものすごく安い。便利です。

大曾根中： 大曾根中の近くにもスーパーが多くてイオンが2つある。学校の横に矢田川っていう川が流れていて、自然もあります。

八王子中： 校舎から名古屋城が見えて、夏に行われる柳原祭りは志賀中や若葉中からも来て大きい祭りです。



議長：今名古屋城のことが出たが、中学生から見て名古屋城の建て替えについても聞きたい。

司会：みんな名古屋城をどんなふう感じているのかな？

・鉄筋コンクリートのビルみたいだ。木のぬくもりがないからこれは城なのかなと。犬山城に行くと歴史を感じるが、名古屋城はビルでオフィスがあるのかな？みたい。

議長：では木造復元でしたほうがいいと思う？

・はい。思います。

・名古屋城を復元するが、奈良の法隆寺とかはけっこう前の木造で長持ちしているのに、名古屋城は建ってからそんなに経っていないのになぜ建て替えるのか

議長：名古屋城は戦争で焼けてしまって、鉄筋で立て直したが、鉄筋の寿命も50年60年なので、今、耐震をするか建て替えをするか、今後必要になってくる。

・今名古屋城は建て替えられたビルのような形になっているが、他にも本当に歴史的建造物なのか分からないような建物があったりするし、全国各地にあるわけで、別に名古屋市だけではない。歴史の教科書に出てくる金閣寺とか銀閣寺とかが鉄筋コンクリートだったとしても行きたいと思うし、当然歴史の背景があって、その土地に行くことに意味がある。箱だけかえるのではなく、名古屋市の名古屋城がどういう歴史をたどってきたのか、興味のある人たちを惹きつけるのは、外観ではなくて歴史にどういう意味があって深く関わってきたのが分からないと、いくら建て替えても意味がないと思う。

議長：名古屋城は昔の設計図が残っていて、名古屋城を木造復元したとしたら昔のまま、檜で作って階段も急勾配のものを作ることができるが、お年寄りはどうやって見学できるかなど、今いろいろ議論している。今皆さん方の意見で参考になりました。



司会：これから魅力のある街名古屋にするためにはそれぞれの立場でどんなことができるか、話し合って発表してもらいたい。議長さんからのオーダーで、いじめ撲滅についても聞きたいとのことです。



志賀中：私たちは実際名古屋に住んでいて、東京に住んでいる人たちより発展していると思うことが少ないと思う。これからリニアモーターカーが開通して、発展していると思えるようになると変わってくると思う。

合唱コンクールを名古屋市公会堂で行ったが、今年で壊してしまうと聞いて切ないなと思うし、京都の人は昔の建物を大切にしているし、名古屋は東京に近づこうとしているように感じる。もっと昔の建物とか文化を大切にできたらいいと思う。いじめについては小学校の時より先生との壁があって、ひとりひとり話す時間が教育相談の時間しかないなので、いじめられている子の変化に気づきにくい。もっと話せる時間を。

八王子中：道徳の時間に聲の形の実写版を観た。なぜいじめが起きたのかを話し合い、これから僕たちはどうして行けばいいんだろうという話し合いもした。こういった話し合いをしていくことでだんだんといじめが減っていくと思う。

地域の人と参加型の行事をつくって、地域の人と仲良くしていけば理想の街に近づくと思う。

地理で習ったが、都市との移動距離が短くなることで過疎化が進んでいく。どうすれば名古屋はそうならないか、考えていくべきだと思う。

質問ですが、毎朝出会うが、知らないサラリーマンの人にも挨拶をしてもよいのか？

本多：いいんじゃないでしょうか。

円上中：まず、いじめというのは、そういう罪状があるわけではなく、暴行とか恐喝とか、本当は細かなものに分かれていて、ただ、そういうことをいじめというぼんやりしたものにくくられている。みんな気がついたらいじめになっていたということが多い。どこまでしたらいじめになるんだろう、いじめというぼやけた像では理解しにくい。細かな分類に分けて、これをしたらいじめだよ、ここまでしたらいじめだよとか、本当はそこまでしないのが理想だが、小さなことからコツコツとしていくことが良いと思う。

さっき、魅力のない街とか出ていたが、そういうのを逆手にとって、魅力のない街となったけど、でもこんな良いところがあるとか、注目してもらえたら、地元のローカル番組とかでそういうことをやっていたが、もっと全国区の番組でも取り上げてもらえると良い。



志段味中：私たちの学区に限られているかもしれないが、周りに公園が少ないような気がして、小学生とか中学生は家でゲームをしている人が多いように思う。公園が増えるともっと外で遊べる。それは子どもの健康面だけではなく、地域の活性化に繋がる。ただ、公園があっても規模が小さい。バスケットボールやサッカーが好きな子どももゴールがあって遊べると良いと思う。魅力がないとでたが、自分の学区で探したら、東谷山という山がある。そこで鹿がみえたりとかする。そこで植林をもっとして、向上していけるようにすると良いと思う。



守山東中：不登校については、私たちができることは待つことしかできない。先生に言われたのは、学級の雰囲気を良くして、学校に来たいと思ってもらえるようにしようと言われた。いじめは起こってしまってからしか分からないが、学校の雰囲気を良くしていくことが大切。学校の雰囲気が悪いのは先生にも問題がある。で、給料をもっと上げてほしいと思う。給料を上げれば教師という職業に就きたいと思う人が増えるし、学力だけではなく、性格とかも、もっと見ていける。年金が問題になっているが、おじいさんおばあさんより、子どもにもっと力を入れて欲しい。学校の意見箱を見ているとお金のかかる意見が多い。もっと税金を小学校や中学校に分けてください。よろしくお願いします。



御田中：僕たちの学校では、いじめと地域との活性化に結びつける意見が出た。具体的には地域でスポーツ大会を開き、スポーツでストレスを発散することが良いと思う。御田中学校ではスポーツが盛んで、ラグビーの日本代表の選手が出ている。運動場が広いということを活かして地域の人も巻き込んでスポーツ大会を開くことによって楽しくストレスを発散する。年齢でチーム分けなどのルールも決めてやる。スポーツが苦手な人もいるので、スポーツ大会が終わったあとはみんなでバーベキューなどもやれば地域ごとでコミュニケーションも取れるので良いと思う。

大曾根中：人権週間の時に校長先生から「普通」について話を聞いた。私は右利きですが、右利きの人は手をあげてください。ありがとうございます。左利きの人は手をあげてください。ありがとうございます。このように右利きの人が多いですが、それを普通と言ってしまう人がいたりしますが、普通というのではないと思う。人それぞれ個性がある。なぜいじめがおこるのか考えたが、いじめている子はいじめられている子のいいところをうらやましがっているのではないかと。自分の考え方を見直せばいじめも減るのではないかと。先ほど行きたくない都市1位に選ばれたという話が出たが、行きたくないではなくて、行きたいと思える要素がないからだと思う。でも名古屋にはいいところも名古屋めしもあるからアピールするポイントを全面に出していけると良い。



高校生実行委員：

・僕は名古屋はどんどん魅力のある街になってきていると思っている。だんだん新しい施設もできてきている。僕は建築に興味があり、第名古屋ビルディングや JR ゲートタワーも行ったがすごく綺麗で、名古屋も魅力のあるワクワクする街になってきていると感じている。しかしこの前それに反する話を聞いた。名古屋城の木造改築の話があるが、僕の学校が古くて汚い。外に向ける発信もあるが、住んでいる人に心地良くしてほしい。今日の話を聞いていると、自分たちの環境は良いから外に向けての発信をしたいという意見になっている。その辺の認識を考えなければならない。名古屋の魅力を発信するためには、名古屋に住んでいる人が名古屋を案内できると良い。自分は起業しようと思っているが、その時は名古屋の人を集めて名古屋のガイド役をすると良いと思う。

・僕は名古屋飛ばし、いわゆる東京大阪間で名古屋が飛ばされるのはおかしいと思っている。地理的にも名古屋は中部地方で中心にある。観光面は魅力がないが、住んでいる人の満足度は高い。外に向けた魅力がないということで、焦って魅力を作ろうとしているが、新しい施設も正直強がりだと思う。既存のものを発信できると良い。今僕は地図作りをやっている。商店街でも、食べて買い物ができるルートや、各地に転々とあるものをルートの開拓をしている。また、いじめ問題では、北欧では、いじめがあると先生と生徒でいじめを解決しなければいけないという法律がある国がある。不登校に関しても待っているのではなく、積極的に関わると良いと思う。

司会：今日は、いつも飲み物をご提供くださっているポッカサッポロビバレッジ株式会社からも見学に来てくださっているので、一言いただきたいと思います。荻谷様お願いできますか？



ポッカサッポロ&ビバレッジ株式会社
顧問 荻谷奨治 様

荻谷と申します。50 年前に大曾根中学校を卒業しました。名古屋生まれの名古屋育ちで、私どもの会社も来年 60 周年を迎えます。名古屋は決して魅力のない街ではないと思っている。外から見ても観光コンテンツもたくさんある。ただ、発信の仕方が下手だったということだと思う。みなさんの中でそういったことが得意な人がいたらぜひ発信の仕方を考えて欲しい。いじめについては 50 年前もあった。私がなぜこうしてられるか、それは、周りの友達が助けてくれた。さきほどから出ていた、あいさつやコミュニケーションはとても大切です。コミュニケーションの始まりはあいさつから。顔を見て目を見てあいさつができるようにしてほしい。我々企業も応援します。

司会：では議長さん、副議長さんに、本日の懇談会について、中学生への今後のエールも含めてご講評いただけますか。

議長：今日はたいへん素晴らしい意見交換ができた。いじめ問題についても多種多様な意見が出た。確かに学校の先生は忙しい。一人ひとり見るのも難しい。今ポッカの方からもあったように、友達もみんなで見ていって、何かあったら先生にも言っていく積み重ねの中で、あいさつ運動も大切。議会としても教育予算は未来への投資なので、教育、子育てに予算をかけるのは我々の職務だと思っている。まちづくりについてもまた皆さん方の想像力豊かな意見を聞かせてもらえれば、議会でも反映していきたいと思う。本当に貴重な意見をありがとうございました。

副議長：みなさんの貴重な意見をありがとうございました。いじめについて、私の妹は足が悪く、昔は外見でいじめがあった。逆境を乗り越え、弱者を守る気持ちがそこで生まれた。自分の体験経験は全てプラスにしていきたいと思う。いじめに対しては、皆さんがた同級生で友達を守ってほしい。いじめ撲滅隊を作ると良いと思う。観光については、名古屋には魅力がいっぱいある。ただ、名古屋の人が知らない。例えば本丸御殿、京都の二条城と同じものがある。文化的な観光ルートも作ると良いと言っている。子どもの目線で遊べるところや、議長から船の話が出たが、中川運河、堀川、名古屋港で船に乗るだけでも旅行に行った気分になる。また、みなさんの純粋な気持ちで名古屋市に対して意見を言って欲しい。我々もしっかりと受け止めていきます。名古屋は住みやすい街が一番だと思う。次に来たい街。障害者のためにも住みやすい街。いろいろな問題があると思うが、相手の立場に立つていくことが大切だと思う。これからも議会でもしっかりとやっていきたいと思っている。今日は本当にありがとうございました。

司会：最後に教育支援協会東海代表、本多功が皆さんにお礼申し上げます。

本多：みなさん今日はありがとうございました。議長副議長ありがとうございました。先生方も長時間優しく見守っていただき、ありがとうございました。僕も名古屋に住んでいますが、名古屋はいい街だと思います。アピールをどんどんして、外から入って来るばかりが脳ではなくて、私たちが住んでいて住みやすい街、誇れる街をみなさんと作っていかれたらと思う。キーワードは共生社会だと思う。行政にお願いしなければいけないこともあるでしょう。自分たちで何とかしなければいけないこともある。自助努力もあるでしょう。国の税収もどんどん小さくなっていく。みんなが助け合いながら共助の社会を作ることが大切だと思う。みなさんが4、5年後選挙権も与えられて政治というものに自分の意見を言える。若い皆さん方がこういう街名古屋がいいんじゃないかということをこういった同志、仲間たちで話し合うことを続けていただいて縦の仲間も増えていったとき、名古屋は面白い街になると期待している。後進であるみなさんに名古屋の将来を託したいと思って毎年こういったことを続けている。また、生徒会サミットにも参加いただきたい。今日はほんとうにありがとうございました。感謝申し上げます。



■議場見学

議長さん、副議長さんの案内で、市議会議場、議長室、特別応接室などを見学しました。



■おわりに

昨年に続き、今回で2度目となりました「名古屋市生徒会サミット参加生徒と名古屋市議会議員との懇談会」には多くの生徒さんにご応募いただき、短い時間ではありましたが、盛会のうちに無事に終わることができました。名古屋市議会議長さんも副議長さんも、中学生のしっかりした意見に感銘をうけておられたとお聞きしております。自分の意見をしっかりと述べ、また、意見を聞く生徒のみなさんの真剣な眼差しは、写真からお分かりいただけると思います。

また、今回は、実践の中間報告会も行うことができ、本事業も充実したものになってきたのではないかと考えております。これも、平素からご理解とご協力をいただいている現場の先生方をはじめ、関わってくださっている皆さまのおかげと深く感謝申し上げます。

今年度も残り2ヶ月を切りましたが、参加校におかれましては、できる限り実践をしていただき、また実践のご様子などもお知らせいただけましたら幸いに存じます。

今後も、当サミットにご理解とご協力を賜り、未来のグローバルリーダーの育成に地域と学校が協働していくことができますよう、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

2017年1月31日

教育支援協会東海 専務理事 西尾真由美

名古屋市長ら いじめ問題論議

7中学の生徒32人と

名古屋市内の7中学校の
生徒会役員ら32人が26日、

市役所を訪れ、市議会の加
藤一登議長や福田誠治副議
長と意見交換をした。

生徒らは10月にあった

「名古屋市生徒会サミッ
ト」(NPO教育支援協会
東海主催、市教育委員会共

催)の参加者。同サミット

で議論したテーマの中から
「いじめ撲滅」などについ
て話し合った。「地域の高
齢者ともっと交流できれば

いじめの相談もできるし、
防災にもつながる」「募

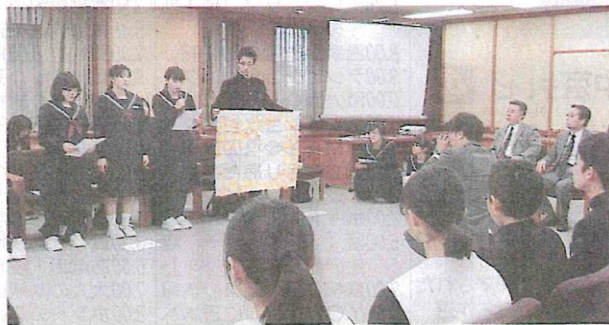
気のいい学校にするため、
先生も生徒に丁寧な言葉遣
いをしてほしい」など、生

徒らは次々と手を挙げ、意
見を述べた。

加藤議長は「先生は多忙

なこともあっていじめに気
付くのが難しい。友達みん
なで変化を見て。その積み
重ねが大切」と話した。

名古屋の未来像 こうしたら



学区内の危険箇所を記したハザードマッ
プを紹介する八王子中生ら＝市役所で

市生徒会サミット、議長に意見

名古屋市中学校の

生徒会役員同士が地域

の問題などを話し合う

「市生徒会サミット」

のメンバーが二十六

日、市役所を訪れ、加

藤一登議長らと名古屋

の未来像などで意見を

交換した。

同サミットは、市の

未来を担うリーダーを

育てようと、NPO法

人教育支援協会東海が

企画。今年は十三校か

ら六十二人が参加し、

防災、いじめ撲滅、環

境などについて課題の
洗い出しや問題解決に
向けて取り組みを続け
てきた。

この日は八校から三
十二人が出席し、学区
内のハザードマップ作
りや登校中のごみ拾い
活動などの取り組みを
報告した。

加藤議長らとの意見
交換では、未来の名古
屋の姿について、生徒
たちから「緑を大切に
する街を目指したい」
「お年寄りや中学生が
交流できるような街が
いい」などの意見が出
た。

加藤議長は「名古屋
のことをこんなに考え
てくれていてありがた
い。みんなの意見を議
会運営に取り入れ、一
緒にまちづくりをして
いきましよう」と呼び
掛けた。(蜘蛛美鶴)